



啓明学院の教育理念



啓明学院と関西学院は同じランバスファミリーです。

上段の中央が父のJ.W.ランバス博士、その右がW.R.ランバス博士と妻のデイジー夫人、その右が母のメアリー夫人です。ランバスファミリーが創立したパルモア学院から啓明学院へ、ランバスファミリーの魂は脈々と受け継がれています。

135年以上にわたって発展してきたランバスファミリー校。

1886年(明治19)アメリカ人宣教師J.W.ランバス博士と夫人のメアリーが、現在の大丸神戸店東側の旧居留地で開いた夜間英語学校が、すべての始まりでした。4か月後に息子のW.R.ランバス博士も加わり、「読書館」と命名されました。翌年には寄付者のパルモア牧師の名前からパルモア学院と名付けられました。

そのパルモア学院から、1889年(明治22)に関西学院、1923年(大正12)にパルモア学院女子部が設立されました。パルモア学院女子部は2年後にパルモア女子英学院と改称、1940年(昭和15)、啓明女学院と校名を変えました。

そして2002年(平成14)、ランバスファミリーの精神を継ぐ中高一貫校として、啓明学院が誕生しました。時空を超えてランバスファミリーの魂がひとつになったのです。2023年には学校創立100周年を迎えます。



J.W.ランバス博士



M.I.ランバス夫人

学生時代に「I give five dollars and myself.」とアジアと日本への奉仕を決意した女性です。



W.R.ランバス博士

アジアからアフリカ、中南米、戦乱のヨーロッパと、世界中を医療と教育を中心に伝道したW・R・ランバス博士。日本ではわずか4年の間に神戸栄光教会を中心に関西学院、広島女学院、パルモア学院などの諸学校と多くの教会を作りました。



啓明学院は2023年に創立100周年を迎えます



神戸栄光教会

神戸栄光教会で前島オリエンテーションキャンプの開会礼拝を行います。



広島女学院

修学旅行では、広島女学院のゲーンズ・チャペルで平和メッセージを互いに発表する合同礼拝を行っています。

関西学院大学・大学院までの一貫教育です。

啓明学院中学・高校から関西学院大学・大学院へ、ここには大学教育まで総合的に配慮した人間教育と知的鍛錬があります。大学・大学院を終えたあと最も重要になる、生涯にわたって学びつづける自学自習の姿勢を本校で確立しましょう。そして、愛と平和と奉仕の精神に貫かれた、あなたのライフスタイルの原型となるスクールライフを過ごされるよう願っています。

本校では、中学・高校を通し、大学での学びを想定して、高等教育への準備を徹底的に行います。学術の面だけでなく人格面でも、大学での大きな成長が期待されます。



関西学院大学・西宮上ヶ原キャンパス
啓明学院の全校生が関西学院大学図書館(開架式180万冊)を利用できます。



関西学院大学・西宮聖和キャンパス
教育学部があり、教育のあるべき姿を追求しています。



関西学院大学・神戸三田キャンパス
総合政策部に加え、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部が新設されました。

世界に待たれている希望の光となるために

朝、太陽が昇る直前に東の空に輝く金星。それは「啓明」とも呼ばれる明けの明星であり、永遠に続くかと思われる暗い時代にも必ず喜びの光が訪れることを示す、希望のしるしです。

神戸旧居留地の読書館から歩みを始めた啓明学院は三宮時代を経て、須磨区妙法寺の素晴らしい環境に美しい校舎、そして時代を先取りする充実した施設を持つ学校となりました。

世界や社会を身近に感じる多様な取り組みや、理数に力を入れたリベラルアーツ型のカリキュラム、そして自然



関西学院大学の村田治学長(右)とともに啓明学院の指宿力校長

に親しむキャンプ生活など啓明ならではの教育は、一人ひとりの個性と創造力を伸ばし、本物の力を育てます。

そして教育の核となるキリスト教主義教育は、他者を尊重しながら協働する力を高め、困難な課題にも粘り強く挑戦する高いモラルを持った人間へと導くに違いありません。

このような啓明で学ぶ生徒たちは、これからの世界に待たれている希望の光となることでしょう。その一人として、あなたがここで学ばれることを楽しみに待っています。

啓明学院中学校・高等学校 校長 指宿 力